

アジェンダ21 すいた エコシター 1月号

明けましておめでとうございます。いつもアジェンダの活動をお支え頂き、またご参加、ご支援頂きまして大変ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

元日には能登半島地震が起き、大規模な災害が生じました。被災された方々の被害鎮静と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年はコロナも終息の方向で、対面の活動も通常通りできるようになりました。そうした面では明るい一年だったとも言えるでしょう。しかし7月には国連のグテーレス事務総長が述べたように「地球沸騰」の年でもあり、7月8月9月と異常な暑さと自然災害に日本のみならず世界が見舞われ、加えて国家間の対立もあり、厳しい一年でもありました。

地球規模の気候変動を体感によってわかる、そうした時代に突入しつつあります。地球の平均気温を1.5度に収めるということも、そう遠からず超えてしまうでしょう。日本全国の年平均気温が17度、対して、フィリピンのマニラが27度であることを見ますと、大阪もマニラの気候に近づくとと言っても過言でないでしょう。「緩和」と「適応」、どちらもとても大事です。

まだ世界は相変わらず温暖化ガス排出は増加傾向で、他方、2000年頃と比べて、環境を考え、環境を良くしようという企業や人々の取り組みははるかに活発になっているように感じます。この数年で、日本でもレジ袋の有料化、バイクシェアの普及、自然エネルギー利用の増加、一般廃棄物の最終処分量の減少（2018年1,310万トンで2000年比約77%減少）など急速に動いています。こうした動きをさらに加速化する段階に入ってきていると言えるでしょう。国と企業が動けば解決するというものではありません。市民である我々自身が環境行動を促進していくことが要です。

アジェンダ21 すいたがこうした動きをリードすべく、今年も取り組んで参ります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

アジェンダ21 すいた 代表 三輪信哉

もくじ

- ・表紙 …1
- ・10/15・11/11 事例報告とワークショップの集い報告「地域で太陽光発電を増やすにはどうすれば良い？」…2
- ・神崎川プラごみゼロアクション …3
- ・じぶん発電所づくり組立講座を開催・食品ロスをなくすために食べきろう！ …4
- ・古紙問屋（福井商店）の見学 …5
- ・高知県みどりの学習旅行 …6
- ・良永ゼミ ゼミナール大会・本紹介 …7
- ・各種募集・イベント案内 …8

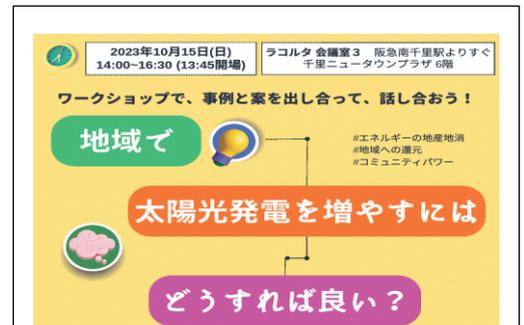
「地域で 太陽光発電を増やすには

どうすれば良い？」

10月15日（日）に、「地域で 太陽光発電を増やすには どうすれば良い？」と題して、事例報告に学び 皆で意見や案を出し合うワークショップが行われました。

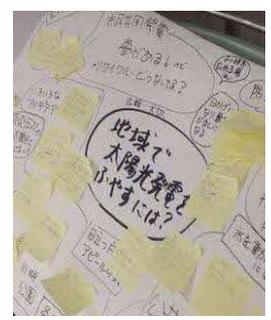
「新エネルギーをすすめる宝塚の会」の西田様からは、市民農園に設置したソーラーシェアリングの「宝塚すみれ発電所4号」、中古パネルを使い、資金の一部をクラウドファンディングで調達し丹波乳業に設置した「宝塚すみれ発電所5号」など、多彩な取り組みの報告があり、生協や大学等、様々な地域の団体と協働していることもとても参考になりました。

「市民エネルギー生駒」の楠様からは、生駒市から公共施設の屋根20年間無償貸与の支援を受け100%市民出資で市民共同発電所を設置した経緯の報告を受け、「市民共同発電所完成ロードマップ」をつくり行動してゆくことの大切さが語られました。その後、生駒市が51%を出資する「いこま市民パワー株式会社」設立につながり地域に収益を還元しつつ幅広い市民に啓発を行っている、ユニークな取り組みもとても参考になりました。



その後、どのような取り組みをしたらよいか、3グループに分かれワークショップを行いました。

グループ毎に、時間が足りないくらいとても活発な話し合いがなされて、様々な案も出されました。「吹田のシンボル『太陽の塔』のお祭り広場に太陽光パネルをつけよう！」という案から、「マンションの屋根に」「公園や駐車場の日よけに」「河川敷に」「医療施設や障がい者の作業所に」「防災の観点から避難所になる学校や公民館に」太陽光パネルをつける…様々な案が出されました。



感想でも出されていましたが、特に「市民発電所って、めちゃくちゃ夢がありますし、ワクワクします。」という参加者からの声は、とても力になり嬉しいものです。また「具体的に進めていきましょう」「ぜひ実現させましょう」という声も多く、次の一歩にぜひつなげていきたいと改めて思いました。

引き続き行われた11月11日（土）の「市民共同発電を実現しようワークショップ」では、初めに、前回出された疑問に答えるものとして【太陽光パネルのリサイクルの現状】【0円ソーラーとは】について、資料を使っでの説明があり、「前回の報告のところ、とても勉強になりました」と声も寄せられました。

「能勢豊能まちづくり（株）」の渡邊さんの取り組み報告は、具体的で分かりやすく、事業コンセプトをしっかりと持つことの大切さが語られ、（能勢豊能の場合は交通・防災・若者・リユース、との事）「吹田らしい事業コンセプトを考えていきたい」との声もありました。

また、市民共同発電の実現のためには、事業収支の見極めが大切なことなどの説明がありました。「実現に向けて具体的な提案があり良かった。」「市民共同発電所へのアプローチ・道筋が具体的にイメージできました。」との感想も多くあり、市民共同発電の実現に向け、また一歩進むことができたワークショップでした。（エネルギー部会 井上道代）



神崎川プラごみゼロアクション

神崎川プラごみゼロアクションというプラごみ中心のごみ拾い活動が11月23日（木・祝）に行われました。

原田禎夫先生（同志社大学准教授）をお招きし、スタッフ（アジェンダ21、すいた市民環境会議、良永ゼミ生、学生ボランティア）と一般参加の親子連れなど総勢41名の参加で、江坂ごみと神崎川ごみの2か所に分けて調査カードを使用し、ごみ拾いを行いました。



自販機の周辺はごみが集まる（江坂）



原田先生からヨーロッパの先進事例などを聞く



洗濯機が捨てられている（江坂）



壊れた自転車を2台も発見（河川敷）



最終地点 これだけ集まりました

	江坂	神崎川	小計
可燃ごみ	4.8 kg	12.9 kg	17.7 kg
不燃ごみ	1.8 kg	16.1 kg	17.9 kg
計	6.6 kg	29.0 kg	35.6 kg

ごみの総量（重量）

飲料・食品の容器包装		飲食以外の容器包装		
	(個数)		(個数)	
	神崎川	江坂	神崎川	江坂
飲料ペット	4	9	2	2
飲料びん	5	2	16	6
飲料缶	13	1	12	22
飲料紙パック	3	1	0	5
食品の発泡スチロール容器	26	3	計	30
食品のプラ容器（弁当、トレイ）	38	9		35
食品のポリ袋（菓子袋など）	58	78	生活用品	
飲料ペットのキャップ	2	3	おもちゃ	0
その他のプラふた・キャップ	1	4	電池	1
飲料ビンの金属キャップ	2	3	ひも・ロープ※1mを1として	1
ストロー（マドラー含む）	0	2	その他の生活用品	16
計	152	115	計	18
				55
タバコ			レジャー・スポーツ	
タバコのすいがら・フィルター	150	560	シート	1
タバコのパッケージ・包装	4	17	ボール（ゴルフボール2含む）	3
使い捨てライター	0	3	その他（数のみ）	69
計	154	580		23
破片・かけら（2.5cm以上のみ）				
硬いプラスチック破片	15	18	発泡スチロールの破片	15
ポリ袋・シートの破片	57	33	ガラスやせともの破片	13
計	72	51	計	28
				12
			レジンベット	有
				有
特に気になったごみ・危険なごみ				
神崎川		江坂		
紙ごみ(14) つまようじ(1) 養生テープ 新聞		1円硬貨 (2) おにぎり 洗濯機 ゴム手袋		
紙 ガムのかす 自転車フレーム (2) 自転車サドル 大量の袋入り生ごみ 壊れた蛍光灯 段ボール箱 カーペット 缶 ふとん		輪ゴム フライドポテト ビニールテープ ストラップ 金属片 溝の底に大量の吸い殻 ヤマト配送センターに三角コーン朽ちたまま放置 コンテナに入った置き去りごみ		

集めたごみの集計結果が上の表（重量）と左の表（個数）となります。タバコの吸い殻がどちらも多数集まりました。プラスチックはペットボトルそのものは少なかったものの、プラスチックの破片が多く見つかりました。

約3時間のゴミ拾いでこんなにも沢山のゴミを目の当たりにし、改めて環境保護活動の大切さ、そして一人一人の環境への意識改革の必要性を感じました。これからもこのような活動があれば自身も積極的に参加すると同時に、吹田市民の皆様のご参加もお待ちしております。まずは自身が意識改革を！環境の重要性を広めていきましょう！

（良永ゼミ 上田杏実・大塚茜里）
（資源部会 水川晶子）

じぶん発電所づくり組立講座を開催

11月5日（日）、多数の応募者の中から抽選で選ばれた10名が参加して、じぶん発電所づくり講座を開催しました。じぶん発電所とは、ベランダに設置できるほどの大きさの太陽光パネルを使った発電設備のことです。人口の73%が集合住宅に住む吹田市において、再生可能エネルギーの普及促進に寄与できるとともに、災害時の電源確保にもつながります。

過去2回開催した南千里とは違う場所であるということで、今回は初めて千里丘市民センターで開催してみましたが、今まで同様20名を超える方々から応募があり、やはり市内の全域的に関心がある課題だということが伺えました。

平田賀彦さんには毎回講師をお願いしていますが、話す内容もわかりやすく、作業段階では全員の作業工程を確認して下さります。2時間みっちりの講座でしたが、慣れない皆様も楽しみながら、組み立てを終えることができました。

自分だけの発電所ですので、ご自宅に持ち帰って活用いただければ幸いです。

（エネルギー部会 馬場慶次郎）

食品ロスをなくすために食べきろう！

コロナが落ち着いて来たため、新年会などグループで飲食する機会が増えています。「宴会では皆が満足するよう、あり余る程の料理を用意しなければならない。」果たしてそうでしょうか？一昔前まではそれで良かったかもしれませんが、飢餓で苦しんでいる人のことを思い、SDGsを考えて、「料理は食べきる！」皆がそういう意識をもって宴会に臨めば、心豊かにより楽しめるのではないのでしょうか。

日本での食品ロス量は2023年で523万トン（事業系で279万トン、家庭系で244万トン、農林水産省推計値）となっており、国民一人あたり、毎日お茶碗一杯のご飯を捨てているのと同じ量になります。

アジェンダ21すいたと吹田市ではすいた食べきり運動に取り組んでおり、協力店は現在65店舗で、ポスターやステッカーなどで、食品ロスを減らす呼びかけをしていただいています。中でも幹事さんマニュアルは宴会の心得5か条を「おいしく全部ペロリンコ」と解説しています。協力店はアジェンダ21すいたのHPで見ることができます。

すいた食べきり運動 | アジェンダ21すいた (http://ag21suita.org/?page_id=2336)
協力店に行かなくても、普段から「食品ロスをなくす」ことを考えて食事をしてみませんか？
（食品ロス削減PT 水川晶子）



宴会5か条

- ① 幹事さんから食べきりの声かけ
- ② よく考えて適量注文
- ③ 箸、皿もって席移動
- ④ 食べきれないときはおすそわけ
- ⑤ 開始15分、終了15分は食べきりタイム

古紙問屋（福井商店）の見学



～古紙問屋の福井商店へ見学に行きました～



古紙問屋とは・・・

私たちの生活の中から出る古紙は、地域で集団回収に出した場合は業者さんがトラックで集めて、直接福井商店へ、また行政の資源ごみに出した場合はいったん吹田市の破碎選別工場に運ばれたあと、福井商店へ運ばれます。福井商店は集まった古紙を種類別の再生原料に分けて行先に振り分ける仕事をする「古紙問屋」さんで、吹田市穂波町にあります。

見学時の様子・・・



この日は事業系の古紙がパッカー車で何台も運びこまれていました。段ボールなど、古紙をベルトコンベアーに乗せて、目視で手作業で異物を取り除きます。種類別に分けて、油圧式のベラーという機械で圧縮しワイヤーで縛り約1tの固まり（ベール）にします。見学した時は、紙の種類ごとのベールがいくつも山積みになっていました。ある程度量が集まると、新聞紙・段ボール・板紙向けの古紙がそれぞれ違う製紙会社（大阪近辺）に運ばれて行きます。

古紙の現状・・・

古紙を取り巻く状況は厳しく、新聞購読者が減っているため、ピーク時の1/6まで新聞古紙が減っているそうです。また、ネット通販の機会が増え、宅配の段ボールの数は増えていますが、強度を保ちながら薄さを要求されるため量は変わりません。雑誌も購読者が少なくなり、量は減っています。古紙の値段も下がっており、集団回収量も減っているのが現状です。



禁忌品について・・・

製紙原料に適さない紙を禁忌品といいます。これが原料に混ざると、製紙全体が使えなくなるのです。私達も古紙を出す場合に禁忌品が混ざらないよう注意しなければなりません。



例えば、★匂いのついた紙（石鹸や線香の箱など）★食べ物が入っていた箱（ピザの箱など）★紙コップ（防水がしてある）★ビールの6缶ケース（防水がしてある）★感熱紙（大抵のレシート）★カーボン紙やノーカーボン紙（宅配便の伝票など）★シールの台紙（水に溶けない）★不織布（マスクやおしぼりなど）★金・銀の色のついた箱などです。

吹田市について・・・

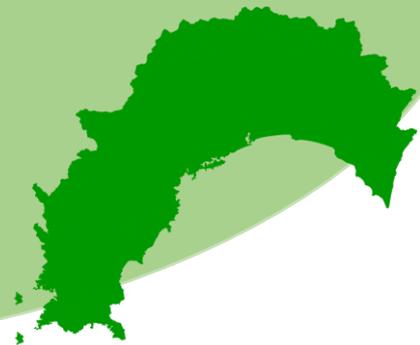
吹田市の焼却工場（資源循環エネルギーセンター）では、燃焼ごみの組成を調べた結果、約30%が紙ということがわかっています。小さい紙でも1センチ四方あれば雑がみとして資源化できます。

何気なくごみ箱へ入れる前に、ひと手間かけて再生資源として使えるものは紙袋に保管しましょう。メモ用紙やはがき、カタログやティッシュの箱（ビニールの窓を取る）などです。紙袋が一杯になれば、まとめて集団回収や資源ごみに出しましょう。

吹田市では廃棄物処理基本計画において、市民一人当たりのごみ排出量の目標値を2028年度に760gと定めています。ちなみに2020年度は835gでした。私達一人一人がごみ減量を心がけないとなかなか減らせません。まずは禁忌品に気を付けて、古紙を資源化することに挑戦してみませんか？ 雑がみも集めてみると分けるのが楽しくなりますよ。

（資源部会 水川晶子）

高知県みどりの 学習旅行



11月28～30日の2泊3日で高知県みどりの学習旅行が行われました。

高知県から招待を受けこのツアーに良永ゼミの水班6名と食班1名地域ゴミ班

1名で参加しました!!!

1日目

1日目は梶原町にある木質ペレット工場で見学させていただきました。夜には地域の方々とバーベキューをしたり交流を深めました。



2日目

2日目は植林体験と伐倒見学をしました。自身で苗木を植えることでまた成長を見に高知県にきたいと思いました。伐倒見学では、大きな木が倒れた時の衝撃や大きな音が凄く印象的でした。

3日目

3日目はAチームとBチームに分かれて活動しました。Aチームは、ジビエ体験を通して命の大切さを改めて感じたり、カヤックで、日本最後の清流と言われている四万十川を満喫できたりと楽しい時間を過ごしました。Bチームは四国カルストとフォレストアドベンチャーに行きました。残念ながら四国カルストの方は天気が悪く景色を堪能することはできませんでしたが、フォレストアドベンチャーで高知県の自然を思いっきり満喫することができました。



高知県の魅力はもちろん、普段中々関わることがない森林組合の方々や林業家の方々から貴重なお話を聞くことができたり、大阪では体験できないことをたくさんでき、凄く良い思い出になりました！

良永ゼミ ゼミナール大会



12月6日（水）に開催された関西大学主催のゼミナール大会に私たち良永ゼミも参加しました！

この日に向けて5つの班それぞれが高知や北海道、吹田のゴミ処理場などに伺い視察やインタビューを行ったり合宿を行ったりするなど発表の準備に磨きをかけて来ました。

気になる結果は・・・！
ペットボトルなどプラスチックゴミ問題に注目し、関西大学のマイボトルを増やすアイデアを発表した班が見事グループ1位を獲得することができました！



良永ゼミ本紹介

図解でわかる 14歳から知る水と環境問題

みなさんは水に関わる環境問題についてどのくらいのことをご存知ですか？
「14歳から知る」というだけあって難しい問題についても図解でわかりやすく説明されています。

「水」という私たち人間にとって最も大切な資源ですが、普段は身の回りに溢れかえっていて当たり前、豊富にあると思われがちでもあります。

この本では、地球の水について環境や経済、歴史などさまざまな観点で紹介されていて人と水のかかわり方について考えることができます！

各種募集・イベント案内

◇すいた環境教育フェスタ◇

吹田市で環境保全活動に取り組む市民団体や事業者・大学などが、環境問題について楽しく学び考える機会になるように、展示ブースや体験型ブースをご用意してお待ちしています。入場無料。

- ◆とき／令和6年2月3日(土) 10時30分～15時00分
- ◆場所／くるくるプラザ(吹田市資源リサイクルセンター) ※公共交通機関をご利用ください。
- ◆問合せ／吹田市 環境政策室 環境パートナーシップグループ

[TEL] 6384-1702 [Mail] env-keihatsu@city.suita.osaka.jp

◇公共上下水道の役割と海・川プラスチック問題の研修会◇

原田禎夫先生からヨーロッパの先進事例を交えた海洋プラスチックの問題の講演と、水問題のNPOから我が国の水道事業の現状とこれからお聞きし、私たちのアクションにつなげていきます。

- ◆とき／令和6年3月23日(土) 13時30分～16時00分
- ◆場所／エルおおさか 7階 709号室(大阪メトロ谷町線・京阪電鉄 天満橋駅)
- ◆講師／原田禎夫氏(同志社大学准教授) ◆定員／50人程度 ◆参加費／無料
- ◆主催／リフィル大阪 ◆共催／アジェンダ21すいた 他
- ◆申込／令和6年3月1日(金)から、下記の電話番号もしくはFAXもしくはメールアドレスへ。

[TEL] 090-8239-8259(アジェンダ21すいた 水川)

[FAX] 06-4800-2226(NPO法人 水政策研究所)

[Mail] jimukyoku@npo-open.org(NPO法人 大阪府民環境会議(リフィル大阪事務局))

アジェンダ21すいた会員募集

アジェンダ21すいたは、持続可能な社会を目指す市民、事業者、行政のパートナーシップ組織です。地球温暖化防止や食品ロス削減をはじめ、様々な取り組みを実践しています。あなたも一緒に活動しませんか。

入会希望の方は、アジェンダ21すいた事務局まで
【アジェンダ21すいた事務局】

〒564-8550

吹田市泉町1-3-40

吹田市役所環境部環境政策室内

TEL 06-6384-1782

FAX 06-6368-9900



アジェンダ21すいた HP

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

●編集後記

あけましておめでとうございます。

昨年は、読者の皆様をはじめ、アジェンダ21すいたの皆様、吹田市の皆様には大変お世話になりました。

さて、月日が経つのは早いものでエコレター編集部も世代交代の時期がやって参りました。最初は何も分からず不安でいっぱいでしたが、少しずつ慣れていきエコレターを編集するのが楽しみになっていきました。エコレターの作成に携わることで、インタビュアーとしてイベントに参加させていただいたり、編集をさせていただいたり、どれも中々経験できないことで学びが多くありました。

このような機会をくれ不足な私たちを支えてくれた皆様には本当に感謝しています。今まで本当にありがとうございました。そして、今後ともエコレター編集部をよろしく願いいたします。

【秋月、上田、大塚、田中】